

平成 27 年第 4 回 日本救急医学会 男女共同参画推進特別委員会 議事録

日時：平成 27 年 9 月 3 日（木）10:00～12:00

場所：日本救急医学会事務所

出席：

委員長 畝本 恭子

委 員 阿南 英明

岡田 昌彦

木田 真紀

木村 昭夫

角 由佳

並木 淳

並木 みずほ

本多 ゆみえ

担当理事：田中 裕

欠席：

委 員 長谷 敦子

議事

1. 第 43 回日本救急医学会総会学術集会 企画

(1) ワークショップ 5（6 から 5 に変更）「きみは一生救急医を続けられるか」

- ◆ セッション時間を、120 分から 150 分にいただいた。
- ◆ アンケート結果が衝撃的：この現実を示したあと、各演題の取組方や意識改革の話題で解決策を示す。という流れ
- ◆ 質疑応答は演題ごとには行わず（確認程度）、十分なディスカッション時間を設ける
- ◆ 発表時間の暫定案としてはアンケート結果（本多先生）が 15 分、鳥取大学の山田先生のご講演が 30 分、他の 6 題が各 10 分だが、30 分以上のディスカッションを設けるため、6 題は各 8 分とする。
- ◆ 事前打ち合わせ：総会事務局から連絡ありしだい、座長が調整。
- ◆ **ディスカッションテーマ**
 - 救急医にとって望ましい働き方とはなにか

- ワークライフバランスを全員が考えられる土壌づくりについて一誰かにしわ寄せがいく、ということのないように
- 育休を取りたいか、取らせてあげられるか、有給の育休は取らせているか、病院としての制度はどうなっている？
- 救急医としてつらい点はなにか？ 多くは明けで帰れない、拘束時間が長い、そのわりに給与が少ない
- そのほかには？
 - ☆ 他科との折衝のストレスの点 特に若い先生
 - ☆ アイデンティティが確立されていないと感じる。
 - ☆ モチベーションを保つファクターを探さなければならない
 - ☆ 虚弱高齢者を救急がみるの？
 - ☆ とはいえ、他科には他科の悩み：当直しても手術、外来、検査…、
⇒救急医は振り分けしたら帰れるんでしょ、という他科の目。
等、いろいろあるが、**本ワークショップでは、男女参画や、働き方の観点で議論を進める**

- ◆ ワークショップ終了後、男女共同参画の観点からの提言を行う：担当 畝本

- 総会の後の委員会で、ディスカッションを踏まえて最終提言を発信する。
- ◆ 学会として取り組めるもの、
- ◆ 国の制度の変更改が必要なもの
- ◆ 施設ごとのもの など。

(2) 男性もはいる「女性救急医師ラウンジ」

- ① 場所：ガラス棟 408 号室 （同じフロアに第 9、第 10 会場）
- ② 案内：抄録集色紙ページに単色で 1 ページ入れていただける。チラシは昨年と同様、カラー印刷。受付に置いていただく
- ③ レイアウト：スクリーン 1、個別の PC 4 台の予定、スイーツ、ドリンクも例年同様
- ④ フロア担当者：それぞれの発表日程により、できるところを近日、メールで確認。7 枠の予定。コアメンバーにもお手伝い依頼。初日の最初、最終日以外は各枠とも最低 3 名必要。
- ⑤ ラウンジ内企画：
 1. ロールモデル紹介：昨年と同じくらい。男性のものがなかったので、萩原佑亮先生と、福井の林先生にお願いする。
 2. 行岡代表理事と話そう！企画 第 2 日目お昼の LS 終了後。他のプログラムの進行と少しずらして開催。行岡代表理事のご都合確認。

⑥ BGM：機器持ち込みは了解済み：パソコンと USB スピーカ：畝本担当（各種 BGM 入れます）

⑦ 男女参画に関する内容以外のご利用は遠慮していただくよう、掲示する。

2. その他

(1) 田中担当理事より 評議員選出、女性医師に関する見直し：

昨年の総会特別企画で、女性評議員の数を増やす必要がある、という委員会提言を発信した。現在、評議員選出法について見直しが行われているが、女性評議員数に関する議論は出ていない。現在、7名なので3%ほど。他学会では20%程度が確保されている。次の理事会で確認する。

(2) 指導医・専門医制度委員会より新専門医制度について：9月27日に、2017年度以降の「専門研修プログラム」に関する説明会が開催され、その後、施設の調整が行われ、プログラム作成が始まることになるが、その整備基準がすでにできており、その中で、「専門研修中の特別な事情への対処」の項目に、出産に伴う休暇（6か月）が記載されている。骨格は機構の方で決めているので、大きくはズれることはできないが、何か、委員会として追加する文言はないか？

⇒ 「出産に伴う」、だけでなく、専門研修前に出産している人の育休、また、男性育休についても加えてほしい

3. 次回開催 平成 27 年 11 月 5 日（木） 10:00～12:00 日本救急医学会事務所